



和服姿で入れる川根茶が人気を呼びました

韓国の人に「緑茶をどうぞ」

仁川世界都市祝典に本町のブースを出展

8月7日から10月25日まで、韓国の仁川広域市で開かれている「仁川世界都市祝典」に、(財)静岡県市町村振興協会の助成を受けて、本町がPRブースを出展しました。2009年韓国の最大のイベントであり、富士山静岡空港の開港をきっかけに、本町の魅力を効果的にPRできることから、静岡県と連携・協力して参加した国際的な催しです。

本町は8月14から20日までの7日間1区画を担当し観光パンフや一煎茶パックの配布、日本茶インストラクター土屋裕子さん・天野幸子さんによる呈茶デモンストレーションなどのサービスを実施しました。

催事に使用したお茶は、川根茶(やぶきた)とみかんの香りを付けたフレーバーティ。冷茶サーバによる無料サービスでは、人だかりができるほど好評を博し、飲んだ人たちは、「さわやかな味ですね」「とてもおいしかった」などと話していました。

町は今後も、空港を活用して交流人口の増大を図り、地域振興を進めていく予定です。

この町に起こった
新鮮な「ネタ」を皆さんの元へ。
この次に登場するのは
あなたかも!?



志太榛原地区の代表として、堂々と戦ってきました

難関を突破して県大会出場

本川根中テニス部と柔道部員が同時快挙

本川根中テニス部の後藤梨早さん、波多野志穂さん、坂下ももさん、中村若葉さん、津山恵美さん、大村愛結さん、柔道部の山本健太郎君がそれぞれの種目で志太榛原地区の代表として、県大会出場を果たしました。「中学校の部活で県大会に出場するのは、36校の中を勝ち抜く難関です。特にテニス部の県大会出場は、ここ10年は果たせていませんでした」と、顧問の先生は話していました。皆さん、おめでとうございます。



舞台の周りを駆ける鹿ん舞に人だかりができました

徳山の盆踊が来場者を魅了

浅間神社に大勢の人が詰めかけました

「徳山の盆踊」は8月15日、浅間神社境内で執り行われ、町内外から大勢の人が詰めかけました。

徳山の盆踊は、鹿の面をつけて舞う「鹿ん舞」と、和服姿の少女が小唄にあわせて舞う「ヒーヤイ」、成人男性による「狂言」の3部で構成されています。

「ソーリャア、ウン、ハイ」のかけ声の勇壮な鹿ん舞や、優雅な仕草で舞うヒーヤイなどに、来場者たちは、大きな拍手を送っていました。

訪問介護に必要な技術学ぶ

ホームヘルパー2級講座を26人が受講中

町では、介護保険事業の充実と緊急雇用対策の促進を目的として、7月からホームヘルパー2級講座を実施しています。講義・実技講習・実習は全150時間。現在26人が受講し、訪問介護に必要な知識や技術など講義や実習から学びます。9月2日の講座では、杖や車いすを用いた介護の方法などを学びました。受講者たちは、実際に車いすや杖に触れながら、使う際の注意点などを確かめていました。



車いすの使い方、たたみ方などを学んでいます

赤石太鼓ジュニアが県優勝

うれしい県予選突破・2度目の全国大会

赤石太鼓ジュニアチームは8月23日、掛川市生涯学習センターで開催された「第12回日本太鼓ジュニアコンクール県予選会」に出場し、見事最優秀賞を受賞。来年3月、埼玉県で開催される全国大会の出場切符を手に入れました。赤石太鼓保存会ジュニアチームは、第10回大会に続き2度目の県優勝です。2年前の全国大会では6位に入賞しており、今回の全国大会では、前回以上の成績を残せるよう、練習を重ねています。



赤石太鼓ジュニアが役場を訪問し、優勝を報告

日本で唯一のアプト式鉄道区間がある大井川鉄道井川線(愛称:南アルプスあぶとライン)は8月1日、開業50周年を迎えました。

これを記念して、大井川鉄道アプトセンターでは、千頭駅を会場とした記念式典を執り行い、沿線市町の関係者50人が出席しました。

地元「赤石太鼓」による勇壮なオープニングから始まった式典では、昭和57年導入当時のデザインである、赤を基調とした車体に緑の色で配色した「DD203号」機関車が、この日特別に披露されました。

また、記念列車も運行。その出発にあたり、地元の小学生代表によるくす玉割り、一般から募集した記念キャラクター「アルル」と「プルル」の紹介と、同キャラクターをヘッドマークに取り付けた記念列車のテープカットなどが実施されました。アプトセンター職員手作りによる式典は出席者の心を温め、井川線の開業50周年を全員が祝福しました。

井川線開業50周年を祝って

大井川鉄道千頭駅を会場に記念式典挙行



記念ヘッドマークを付けた列車の前でくす玉割り

Topics

川根本町の
まちの話題